

# 平成 21 年度 学校自己評価システムシート ( 県立進修館高等学校 )

目指す学校像	明るく活力にあふれ、「進徳修業」の精神に満ちた人間を育成する、地域が誇りに思える学校。
重点目標	1 確かな学力の向上と進学・就職実績の向上 2 規律ある態度と豊かな心の育成 3 学校情報の積極的な発信と地域との連携

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	2名
	事務局(教職員)	9名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					年度評価(3月1日現在)		
年度目標					年度評価(3月1日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成	次年度への課題と改善策
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来を見据え、前向きに授業に取り組む生徒が多い。</li> <li>本校の多様な教育システムの利点が十分活用されていない面がある。</li> <li>生徒一人ひとりの学習意欲を高め、学力の向上を図る取組を一層推進する。</li> </ul>	①ガイダンス機能の充実 ②授業改善の推進 ②学力の向上と専門性の深化	①進路ガイダンス、就職ガイダンスの充実 ②教科内研修の充実、教員同士の授業参観など「確かな学力の定着」を図るための組織的な取組 ②生徒による授業アンケートの実施 ②自習室、図書館の活用促進 ②個別学習指導の充実 ②チャイム トゥ チャイムの徹底	①進路実現に向けた科目選択ができたか ①生徒、保護者の満足度が増加したか ②授業改善の取組が学力の向上につながったか ②学校や家庭での学習習慣が定着したか ②チャイム トゥ チャイムの徹底により、授業に対する意識が高揚したか	<ul style="list-style-type: none"> <li>選択科目の改善ときめ細かな科目選択ガイダンスを実施。適切に科目選択ができた生徒の割合は73%(前年度比3%増)</li> <li>学校生活に対する生徒の満足度は70%(3%増)。保護者の満足度は85%(2%増)</li> <li>工業科学力向上委員会の取組を実施した。成績不振者はやや減少。優良者も微減。</li> <li>移動教室も多く、チャイムトゥチャイムの徹底は不十分。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の進路実現を確実にするための新しい教育課程を作成する。</li> <li>授業改善の取組を学力の向上につなげる。</li> <li>チャイム トゥ チャイムの組織的・継続的な指導を実施して、学習意欲の向上を図る。</li> <li>基礎・基本の定着を図るきめ細かな指導を実践するとともに、家庭学習の習慣化を図る。</li> </ul>
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路の手引きを発行し、組織的・計画的な進路指導を展開している。</li> <li>生徒一人ひとりの進路意識の高揚を図る取組を一層推進する。</li> <li>進学補習、個別指導等を充実させる。</li> </ul>	①生徒の進路希望を実現するきめ細やかな進路指導の推進	①資格取得の推進 ①高大連携、キャリア教育、インターンシップの充実 ①長期休業中等の組織的な補習体制の確立	①進学実績が向上したか ①希望職種への就職が実現したか ①進学補習の充実により補習参加者が増加したか	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門学校進学者が増加し、大学・短大への進学希望者は減少した。</li> <li>就職求人数がほぼ半減した。継続的な個別指導により、就職内定率は89%。(昨年度100%)</li> <li>進学補習参加者数は横ばい。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路ガイダンス・進学補習の充実、進路室の有効活用と個別指導の推進により、進学実績の向上を図る。</li> <li>就職難の中、組織的・継続的な指導を實踐して、就職率を向上させる。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の規範意識の育成を図るため、様々な指導を実践している。今後とも計画的・組織的な指導の充実を図る。</li> <li>多様な生徒が在籍していることから、生徒理解・生徒支援活動を充実させる必要がある。</li> <li>全国大会に出場する部活動もあるが、更なる部活動の活性化を図る。</li> </ul>	①組織的な生徒指導の推進 ②生徒支援体制の充実 ③部活動への参加率の向上と活性化	①生徒指導部・各学年との連携強化と組織的な生徒指導の推進 ①規律ある態度・豊かな心の育成 ①安心・安全な学校づくり ②生徒相談体制、相談時間・機会の一層の充実 ③部活動の活性化	①生徒指導の充実により、地域に信頼される学校づくりを推進することができたか ①あいさつ等がしっかりできるか ②生徒がいつでも相談できる体制をつくることができたか ③部活動に意欲的に取り組む生徒が増加したか	<ul style="list-style-type: none"> <li>評議員会の提言を踏まえ、秩父線乗車指導など、校外指導の充実を図った。</li> <li>全学年が挨拶の励行を目標に掲げて取り組み、多くの生徒に浸透している。</li> <li>指導件数は半減。安心安全な学校づくりが進んでいる。</li> <li>生徒相談体制は更なる充実が望まれる。</li> <li>一部の部活動は関東・全国レベルだが、全体的な加入率は低い。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>全校統一の組織的な生徒指導を一層推進して、学校内外での規律ある態度の育成を図る。</li> <li>生徒相談体制の充実や、挨拶の励行等を通じて、心豊かな生徒の育成に努める。</li> <li>保護者と連携した校門指導、校外指導や各学年での巡回指導を充実させ、安心・安全な学校づくりを推進する。</li> <li>部活動の活性化を図る。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校、地域に対する本校の教育活動の情報提供は、定着してきている。</li> <li>今後は、より一層情報提供に努めるとともに、学校評議員、学校評価懇話会委員、生徒、保護者等の意見や提言を教育活動の改善・充実に反映させる。</li> </ul>	①開かれた学校づくりの推進 ②中学生、保護者等に対する本校理解の推進	①学校評議委員会、学校評価懇話会の更なる充実 ①授業公開の充実 ①地域開放型図書館の利用促進と統合記念館の充実 ②進修館通信の継続発行と、学校ホームページの充実 ②学校説明会と工業体験実習の充実 ②学校評価アンケートの実施	①学校説明会、工業体験実習の参加者が増加したか ①入学志願者が増加したか ①公開授業の参加者が増加したか ②説明会参加者の満足度が高かったか ②教育活動の改善を図るために、幅広く意見を聞くことができたか	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校説明会や中学校訪問の改善、学校情報の積極的な発信等を実施したが、説明会参加者や入学志願者等の増加には至っていない。</li> <li>学校評価アンケートでは、学校の取組を評価する意見が増加している。</li> <li>評議員、評価懇話会委員から多くの提言があり、教育活動に取り入れている。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校説明会、中学校訪問等の工夫により、本校教育活動の情報発信を積極的に行う。</li> <li>地域関係機関との連携を強化して、開かれた学校づくりを一層推進する。</li> <li>学校評価アンケートでの生徒・保護者の意見、学校評議員・懇話会委員の提言を教育改善に生かす。</li> </ul>

学校関係者評価	
実施日	平成22年 3月 2日
学校関係者からの意見、要望、評価等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>学力の定着のためには、まず学習意欲の向上が大切である。学校だけでなく、家庭学習の定着を図る必要がある。</li> <li>少人数できめ細かな指導を實踐しており、学習環境はよい。学力の向上が望まれる。</li> <li>生徒の意識付けをしっかりと、目的意識を持って学習に取り組む生徒を育成して欲しい。</li> <li>チャイム・トゥ・チャイムの指導を徹底する必要がある。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>就職難の中、様々な指導を實施して一定の成果を出していることを評価したい。</li> <li>本校は3学科あり、様々な学びの特色がある。生徒たちが、いろいろなことにチャレンジして、それぞれの進路実現を果たせるように指導して欲しい。</li> <li>学力だけでなく、人間性を高める教育も必要である。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導に関して、先生方がきめ細かな指導を實踐していることを実感した。</li> <li>ルールを守ることの大切さを継続的に指導していく必要がある。</li> <li>生徒指導件数が大きく減少している。取組の成果である。</li> <li>本校で前向きに努力しようとしている生徒の意欲を高められるように、きめ細かな指導を實踐して欲しい。</li> <li>生徒たちが、部活動を通じて、人間形成を図っていくことが必要である。</li> <li>生徒が、部活動やボランティア活動に目を向ける指導を實施して欲しい。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>開かれた学校づくりに向けて多くの取組を實踐しており、高く評価する。中学校とはよく連携しているが、小学校も視野に入れた取組を考えて欲しい。</li> <li>今年度の小中高PTA連絡協議会の取組を評価する。小中高の連携を強化して、本校で学びたいという生徒を育成したい。</li> <li>学校評価アンケートは、生徒・保護者の考えを知る上で大切だ。きちんとした分析に基づいて学校改善に生かして欲しい。</li> <li>生徒の満足度は、大きな学校PRである。</li> </ul>	